202212KeMCo

View Report

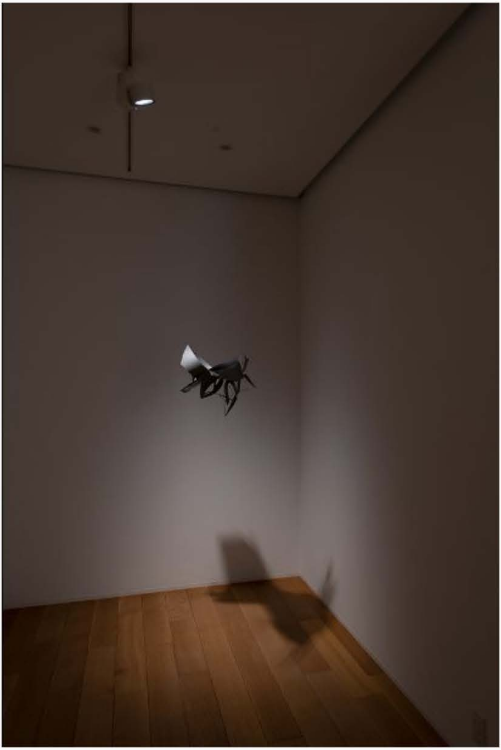
Campaign Preview　HTML Source　Plain-Text Email　Details

View this email in your browser

KeMCo

12月に入り、そこかしこが年末らしくあわただしい雰囲気となってまいりました。
KeMCoは現在開催中の企画展「大山エンリコイサム Altered Dimension」の閉幕の準備、
そして年明けすぐに始まる新春展の準備と、年の暮れまで大忙しとなりそうです。
そんなKeMCoと三田キャンパスの、2022年最後のアート情報をお届けします。

【12月16日（金）まで】「大山エンリコイサム Altered Dimension」



KeMCoでは、現代美術展のシリーズ第一回目として「大山エンリコイサム Altered Dimension」を開催中です。
都市のさまざまな空間に名前をかき残していくライティング文化に関心を寄せ、エアロゾル・ライティングの文字形体を抽象化し再解釈した独自のモティーフ「クイックターン・ストラクチャー（QTS）」を展開する美術家・大山エンリコイサム。
新作を中心とした本展覧会の開催は12月16日（金）までです。お見逃しのないよう、ぜひお越しください。

（画像）

FFIGURATI #444

ポリプロピレンシート、他

2022

Artworks ©Enrico Isamu Oyama

Photo ©Katsura Muramatsu (Caloworks)

展覧会「大山エンリコイサム Altered Dimension」

日時｜2022年10月17日（月）～12月16日（金）
月火水＝ 11:00–17:00、木金＝ 11:00–19:00 [土日祝休館]
※特別開館｜11月5日（土）、12月3日（土）11:00–18:00
※臨時休館｜11月7日（月）、12月5日（月）
場所｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ
対象｜どなたでもご覧いただけます
費用｜無料

大山エンリコイサム　Altered Dimension

【開催レポート】「トーク・イベント｜大山エンリコイサム×青木野枝」

FFIGURATI #428, 2022
Muramatsu (Caloworks)

11月11日（金）に、展覧会関連イベントとして「トーク・イベント｜大山エンリコイサム×青木野枝」が三田キャンパス G-Labにて開催されました。
表現のフィールドや扱う素材が大きく異なるおふたりですが、今回の対談は大山さんが「Altered Dimension」のテーマでお話ししてみたい人として青木さんを挙げられたことで

実現しました。青木さんも大山さんに対談相手として指名されたときはとても驚かれていたそうです。トークでは青木さんが大山さんの作品世界へと鋭く切り込んでいくうちに、それぞれの造形に対する意識が言語化されていき、そしておふたりの間でいくつも共通点が見出されていきました。
現代美術の分野で活躍中のおふたりですが、新しい面が発掘されたトーク・イベントとなったのではないでしょうか。対談の様子はアーカイヴ配信にて近日公開予定です。展覧会ページにてお知らせします。

【次回企画展】KeMCo新春展2023 うさぎの潜む空き地

《水晶の兎》

KeMCoでは、2023年1月10日（火）から「KeMCo新春展2023 うさぎの潜む空き地」を開催致します。

2023年の干支は「卯」。「不思議の国のアリス」や「ウサギと亀」など物語でおなじみのうさぎですが、みなさん、うさぎにはどのようなイメージを持っていますか？新年の幕開けに、かわいいけど、少し怖いうさぎの世界にご案内します。
あわせて、うさぎを愛した小説家、泉鏡花のうさぎコレクションと、鏡花の詩的な交友グループ「九九九会」を紹介します。

KeMCo新春展2023 うさぎの潜む空き地
特別展 鏡花のお気に入りたち

会期｜2023年1月10日（火）～ 2月9日（木）（土日休館）
1月21日（土）、2月4日（土）は特別開館、1月16日（月）、1月30日（月）は臨時

休館
開館時間｜11:00〜18:00
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
対象｜どなたでもご覧いただけます
費用｜無料（事前予約不要）

主な出品作品｜
「かちかちやま」Y. Nishinomiya発行、1886年
『寓話』ラ・フォンテーヌ著、1668年
《月宮文八稜鏡》唐時代（7世紀）
《薄兎蒔絵鏡箱》江戸時代（17世紀）
漢詩 「無所思還有所思…」福澤諭吉筆、1883年
『閑暇のための動物奇態図譜』マイアー著、1752年
『ラテン語時禱書』15世紀後半
《クロマトポイエマ》飯田善國・西脇順三郎、1972年
〈土方巽と日本人ー肉体の叛乱〉馬鹿王の行列 写真、羽永光利、1968年
《水晶の兎》
《大兎の手炙り》
《泉鏡花のペンケース》
『鏡花選集』画稿、小村雪岱筆、1915年

KeMCo新春展2023 うさぎの潜む空き地

展示室より、推しモノ #13

KeMCo
大山エンリコイサ

Feedback

さまざまな専門を持つメンバーが集うKeMCoの学生スタッフ・チームKeMCoMは、展覧会ごとに、学芸スタッフとは異なる切り口で展覧会の体験を深め、その魅力を伝える独自のプログラムを展開しています。KeMCoMの溌剌とした発想にはいつも驚かされていますが、今回の「大山エンリコイサム Altered Dimension」は、現代美術家の個展であり、作家自身が展覧会の体験を非常に緻密に設計していることから、どのように展覧会に関わってゆけばよいか、KeMCoMが長い間悩んでいたことが印象に残っています。

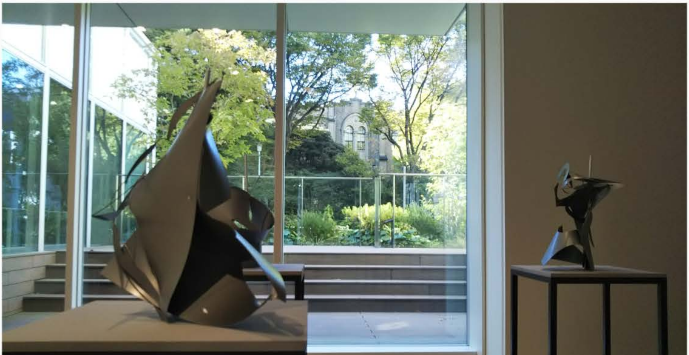
その悩みの末に企画されたのが、「CoZ」と名付けられた2冊のZINEです。KeMCoMが注目したのは、大山エンリコイサムさんのルーツであるストリート・アート。街中の壁や地下鉄を媒体に自分の表現を拡散させていくストリート・アートになぞらえ、自分たちの目で改めて捉えなおしたKeMCoの活動や展覧会を、ZINE上で表現し、来館者や道行く人に手渡していくという企画です。

一つ一つKeMCoMが手作りするCoZは、造本もすごく凝っています。是非手に取ってみてください！

本間　友（KeMCo専任講師）

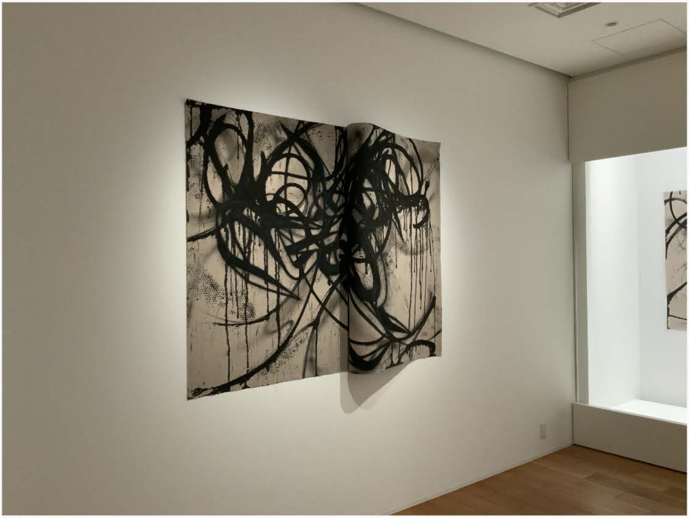
空き地

展覧会やイベントの際には、アンケートをお配りし、感想やご意見を聞かせていただきます。ご回答いただいたアンケートの言葉には、作品の新しい見方に気づかされたり、はっとさせられたりすることがよくあります。今回は、企画展「大山エンリコイサム Altered Dimension」でご回答いただいたアンケートの中から、印象的だった感想をふたつご紹介します。



展示室「Room 2」と作品

ひとつめ、「キャンパスが借景となり、とってもおしゃれだった」。
展示室「Room 2」は、展示壁の一部がガラス張りになっていて、キャンパスの塾監局や旧図書館の建物が背景となり、作品を引き立てます。この「現代美術と近代建築の組み合わせ」は、KeMCoならではの光景ではないでしょうか。



FFIGURATI #444、2022年
エアロゾル塗料、墨、カンヴァス

ふたつめ、「作品を折り曲げた部分を見て、和服の帯のお太鼓の重なりを連想しました」。
確かに！他にも屏風絵や巻物みたい、というご意見をいただきました。本作品には画材として墨が使われています。これがより「和」のイメージを連想させるのかもしれません。
KeMCoの展覧会やイベントにお越しの際は、ぜひアンケートにご協力ください。

眞下　菜穂（KeMCo事務員）

お知らせ

【KeMCo休館中】冬季休業のお知らせ（12/28〜1/5）

慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）事務室は、以下の通り冬季休業いたします。電話・メール等でのお問い合わせは、冬季休業明けの対応となりますことをご了承ください。

冬季休業　2022年12月28日（水）〜2023年1月5日（木）まで

三田でご覧いただける展示

「アート・アーカイヴ資料展XXIII 槇文彦と慶應義塾 II：建築のあいだをデザインする」
10月3日（月）–**12月16日（金）**
主催｜慶應義塾大学アート・センター
会場｜慶應義塾大学アート・スペース

「2022年度秋季企画展　福澤諭吉と『非暴力』 —学問のすゝめ150年—」
10月17日（月）–**12月17日（土）**[予約推奨]
主催・会場｜福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館（慶應義塾図書館旧館2階）

「三田メディアセンター第357回企画展示：究極の質感（マテリアリティ）西洋中世写本の輝き－慶應義塾図書館貴重書展示会ダイジェスト－」
11月14日（月）–**12月24日（土）**
（「グーテンベルク聖書原本」公開日　12月14日（水）–12月17日（土））
主催｜三田メディアセンター展示委員会
会場｜三田メディアセンター

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回のKeMCo Voiceは2023年1月に配信予定です。

過去のニュースメールはこちら

2023年もKeMCoをどうぞよろしくお願いいたします。

Copyright © 2019-2022 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ